

## 秋鹿小学校5年生の総合的な学習「池や川の魚は何を食べているのだろう」 “メダカは何を食べているのかな？” “岡本川たんけん”に参加して

平成26年7月8日にメダカは何を食べているのか？を探るため、飼育している水槽と池の水を顕微鏡で観察しました。

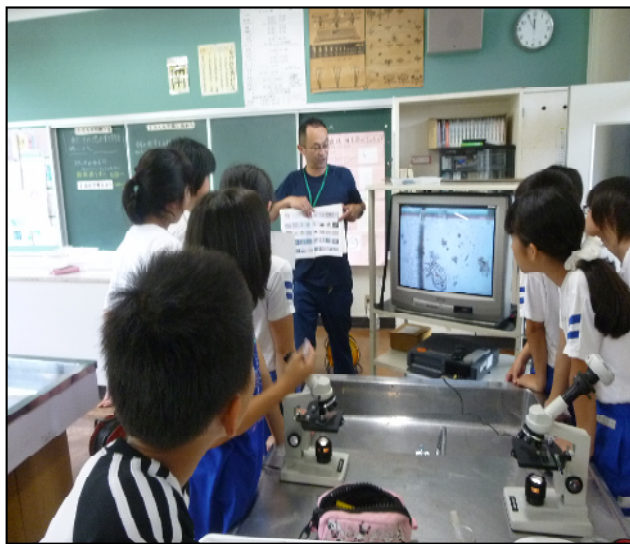
その発展として、平成26年10月1日には岡本川の生き物は何を食べているのか？を調べる学習を行いました。

この学習の講師は環境調査課戸田顕史です。

### “メダカは何を食べているのかな？” 平成26年7月8日実施

池や川にいるメダカは何を食べているのかな？を探るため、メダカのすむ川の水をプランクトンネットで曳いてみました。

この水を顕微鏡で観察すると、たくさんのミクロの生き物がみつまりました。きっとメダカはこのような小さな生き物を食べているのだろうと、想像しました。



子供たちの感想は、『メダカのすむ川の水の中には、小さな生き物がいっぱい』  
『ミカヅキモやミジンコを初めて見た』と、目に見えないほどの小さな生き物の発見がいっぱいありました。



“岡本川たんけん” 平成 26 年 10 月 1 日実施

“川にはどんな生き物がいるのかな？” “川の生き物は何をたべているのかな？”



まずは、タモあみで生き物を調べました。  
スジエビ、カワムツ、トウヨシノボリ、ゴクラクハゼ、ドンコ、ヌマチチブがとれました。



スジエビ



ドンコ



ゴクラクハゼ



ヌマチチブ



カワムツ

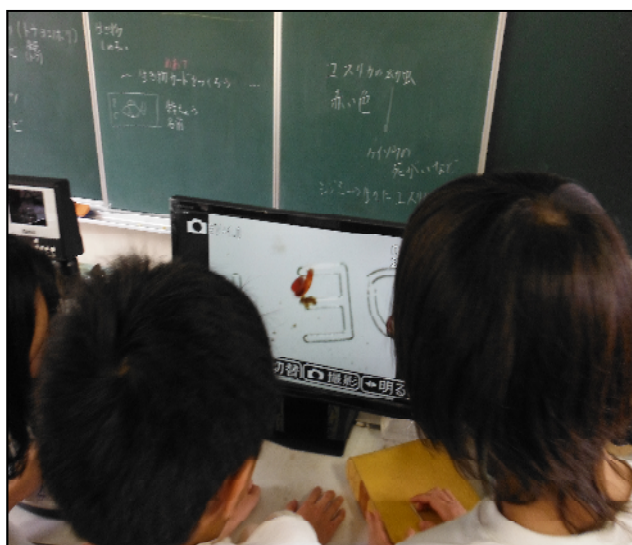


川の砂の中には、淡水のシジミ“カネツケシジミ”がたくさんとれました。



シジミからあしがでてきたぞ・・・

次に、小さな生き物調べです。魚などの餌はどんな生き物がいるのか顕微鏡を使って、観察しました。



ユスリカの幼虫

## 子供たちの感想

- ◇自分で魚が一匹とれてうれしかった。
  - ◆アメンボと小さな魚しかとれなくて、残念でした。
  - ◇岡本川にたくさんの生き物がいてびっくりした。
  - ◆川にはメダカだけではなく、変わった名前の魚やエビがいてびっくりした。
  - ◇とれた魚をよく観察すると、模様があった。
  - ◆同じ種類の生き物でも、模様や大きさが全然ちがってびっくりした。
  - ◇魚にはいろいろな色があった。
  - ◆スジエビの脚は二本目が一番長いことがわかった。
- 
- ◇岡本川でとれたシジミは、いつも食べているヤマトシジミとは違うことがわかった。
  - ◆蛭を観察していたら、白いもの（あし）が出てきて、ビックリした。
  - ◇蛭は吸ったものを吐いて、不思議だなと思った。
- 
- ◇顕微鏡で魚のえさを調べたら、植物プランクトンがいて、すごいなあと思った。
  - ◆いままで見たことのない餌（小さな生き物）がいて、びっくりした。
  - ◇プランクトンも画像で見ると、気持ちの悪い生き物がたくさんいた。
  - ◆プランクトンはふしぎな動きをしているものがいた。
  - ◇魚が動物プランクトンを食べることは知っていたけど、魚がさかなを食べることは知らなかった。
  - ◆他にどんな小さな生き物がいるのか調べてみたい。

環境学習等のご要望があれば、ご連絡下さい。

◇環境調査課 0852-24-0031